

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 21日は、低気圧が朝鮮半島から西日本付近へ進み、前線が東シナ海へのびる。
- 22日は、西日本付近の低気圧は日本の南東に進み、前線が西日本の南から東シナ海へのびる。オホーツク海の高気圧が日本海へ張り出す。
- 23日は、高気圧がサハリン付近を南東へ進む。低気圧が東シナ海から西日本付近へ進み、前線が東日本南岸と東シナ海にのびる。
- 24日は、高気圧が千島近海から日本の東へ進む。低気圧が本州付近を東進し、前線が東シナ海へのびる。
- 25日は、低気圧は日本の東へ進み、前線は日本の南へ南下して沖縄・奄美付近へのびる。東シナ海の高気圧が朝鮮半島へ進む。

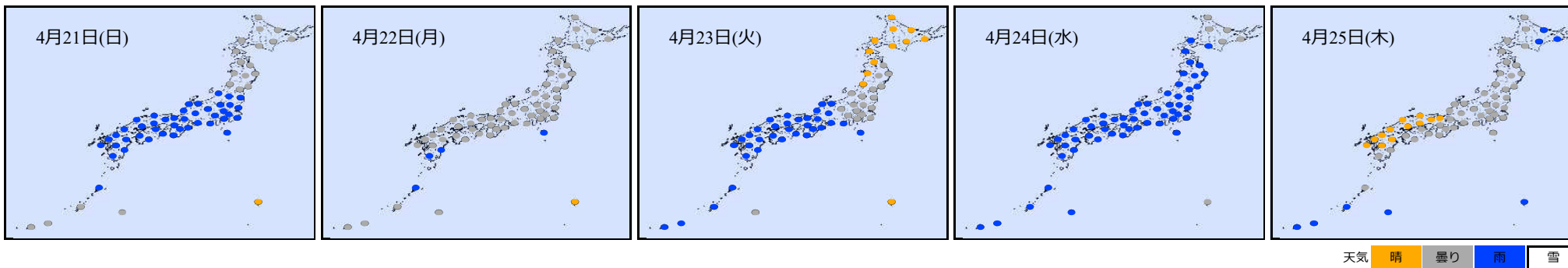
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 気温は平年より高い日が多く、期間のはじめはかなり高くなる所もある。積雪の多い所ではなだれ等に注意。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

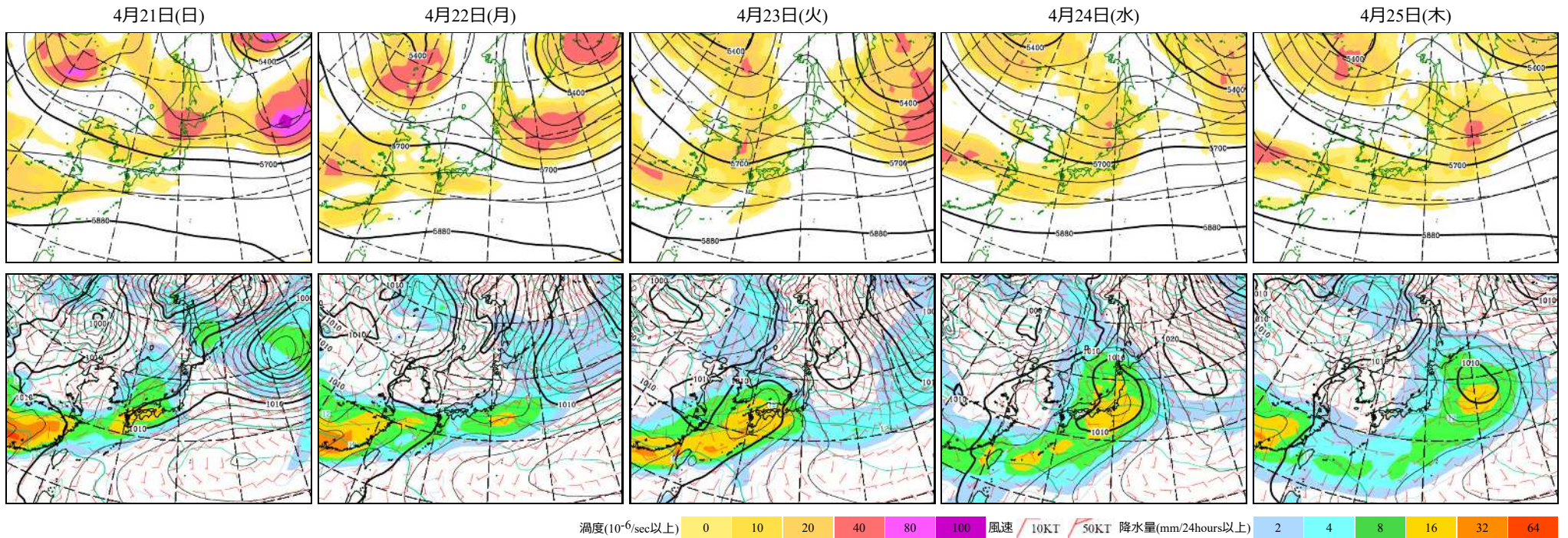
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

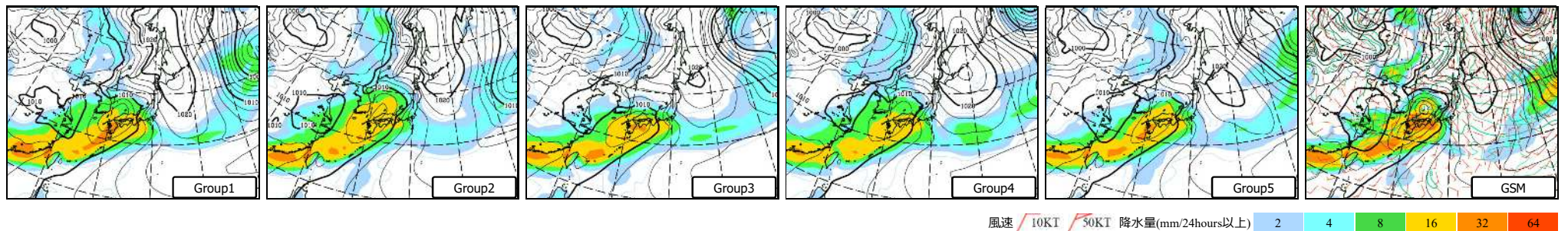


- 北日本は、23日は晴れる所もあるが、その他は雲が広がりやすく、24日と25日は雨の降る所がある。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、25日は晴れる所もある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月23日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、23日から25日に日本付近を通過するトラフが深くなり、本州付近を東進する低気圧が明瞭となった。
- 23日から24日に日本付近に進む低気圧の予想は、各モデルでばらつきが見られ不確実性は大きいですが、アンサンブルメンバーの予想には各モデルに近いものがあり、ENS平均は各モデルのばらつきも含んだ予想と考えられる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。